

東広島市 夏満載情報

イベント(6月~8月)

時期	名 称	問合せ先
平成21年6月6日(土)	第23回志和堀ホタルまつり	志和堀小学校 082-433-2144
平成21年6月6日(土) ~6月14日(日)	2009ひがしひろしま音楽祭 応援ステキWEEK	西条ステキ委員会事務局 082-423-2729
平成21年6月13日(土)・14日(日)	ひがしひろしま音楽祭	(社)東広島市観光協会 082-430-0310
平成21年7月10日(金)・11日(土)	御建神社祇園まつり	御建神社社務所 082-423-3253
平成21年7月11日(土)・12日(日)	安芸津祇園祭	祇園祭保存会(原田) 0846-45-0054
平成21年7月23日(木)	二十三夜祭(安芸津)	南酒店 0846-45-0104
平成21年7月25日(土)	黒瀬ふれあい夏祭り	黒瀬商工会 0823-82-3075
平成21年7月26日(日)	登立公園川祭り(福富)	登立公園実行委員会(石本) 082-435-3070
平成21年7月26日(日)	第20回リバーサイド フェスティバル(河内)	リバーサイド フェスティバル実行委員会 082-437-2228
平成21年7月28日(火)・29日(水)	住吉祭奉賛花火大会(安芸津)	住吉祭奉賛会(荒谷) 0846-45-1005
平成21年8月1日(土)	第13回どまんなか 豊栄ヘソまつり	どまんなか豊栄 ヘソまつり運営委員会 082-432-2110
平成21年8月22日(土)	白市フェスティバル	白市の文化を考える会 082-434-0419
毎月第3日曜日	並滝こもれびの会	(社)東広島市観光協会 082-420-0310
毎月4日	西条四日市	まちづくりくらし織り人 082-422-4413
毎月10日	酒蔵の街 てくてくガイド	観光協会西条駅前案内所 082-421-2511
毎週日曜日	DISCOVER WEST ハイキング西条酒蔵めぐりコース	観光協会西条駅前案内所 082-421-2511
毎週土日祝	ようこそ釀華町西条	観光協会西条駅前案内所 082-421-2511

旬なもの

時 期	名 称	問合せ先
6月初旬~6月下旬	びわ(露地もの)	JA芸南 経済部営農販売課 0846-46-1166
6月初旬~6月下旬	ホタル	志和堀小学校 082-433-2144
8月中旬~9月いっぱい	宇山ぶどう	河内支所建設産業課 082-437-2901

※お詫び 東広島市観光協会会報vol.15 2009春号に添付しておりました「2008酒まつり写真コンテスト入選作品」の内容に次のとおり誤りがありました。撮影者ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びして訂正いたします。

「誤」



「絆」
松浦 恒雄 (広島市南区)



「絆」
金子 浩紀 (広島市中区)

「正」



「絆」
金子 浩紀 (広島市中区)
「絆」
松浦 恒雄 (広島市南区)

まつり紹介



安芸津祇園祭保存会 会長
南 孝昭さん

安芸津祇園祭と 大名列

大名列は広島藩が幕府の命令を担当したとき、三津村の町年寄木原保右衛門に功績があって恩賞を賜ったことから始まる。彼がこの恩賞の活用を思案していたときに祇園祭の行列に出会ったらしい。これだと思った彼は八坂神社から分霊を請け行事の許可を得て毛槍、笠鉾、衣装など全部、京都と同じ物を作らせた。そのとき若者数名を京都に呼び寄せて槍の振り方などを習わせている。それ以降、毎年7月中旬に祇園祭が盛大に行われている。

◆日 時

7月11日(土)、12日(日)
大名列は12日(日)安芸津公民館を15:30出発。素戔神社へ18:00頃到着。

◆お問い合わせ先

祇園祭保存会(原田)
TEL (0846) 45-0054

東広島NEWS

東広島市観光協会会報
社団法人東広島市観光協会
〒739-0025 東広島市西条中央7-23-35
TEL(082)420-0310.FA(082)420-0329
URL <http://hh-kanko.ne.jp/>
E-mail office@hh-kanko.ne.jp

vol.16 2009 夏



白市歌舞伎 写真提供:白市の文化を考える会

トピックス

●一安芸の国 白市－白市歌舞伎について

慶長五年(1600)、天下分け目の関が原の合戦以後、武士団のいなくなった江戸時代の白市は、酒造業、塩田業などを営んでいた木原家(現在、旧木原家住宅は国重要文化財)や、江戸時代後期には筆頭鑄物師であった伊原(惣)家(現家屋は明治初期の瀬戸内地域最大の町屋)以下、多くの事業家・実業家の活躍で、非常に繁栄した町であったという。

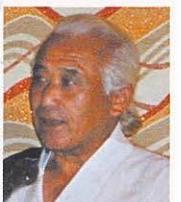
宝暦年間(1751~64)に始まった「牛馬市」も盛んになり、「…ねえ あなた 忘れしゃんすな白市の市日は三・八で ほかに五月は大市で 縞の財布がおもくなる…」と俚謡にうたわれたように、明治以降、三次、久井とならぶ広島県内三大市場として栄えた。

このような繁栄は、地元住民が負担金を出し、町ぐるみのイベントとして努力した結果である。上方歌舞伎、サーカスの興行や多くの露天商の誘致などがその例である。

大市(牛馬市)の期間中、上方歌舞伎を見て育った白市の人々(おとなもこどもも)は、歌舞伎に愛着があり、上手に演ずることが出来た。

平成5年に「白市の文化を考える会」を設立して「白市歌舞伎」を核にして活動してきた。

8月末の土曜日に、高屋東小学校体育館で上演し、今年で17回目になる。(今年は8月22日(土))



白市の文化を考える会
会長
大多和 孝さん

●市内探訪バスツアー

「黒瀬川流域をたずねて」5月24日(日)開催

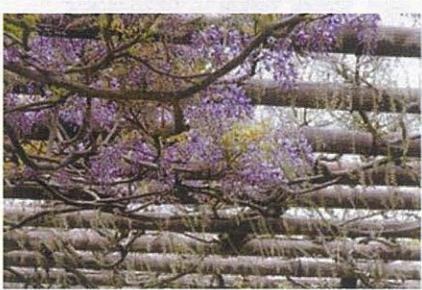
「黒瀬川流域をたずねて」と銘打ち、黒瀬川に沿ってバスツアーを行った。ボランティアガイドの企画運営により、黒瀬川の源流と言われる並滝寺池から、呉市の二級ダムまで、黒瀬川とかかわりのある場所を巡った。今回、広島大学の名誉教授である沖川先生もご参加くださいり、分かりやすく解説してくださった。参加者も水、河川の大切さを再認識することが出来たようだった。



●三永水源地を一般開放

3月21日(土)~5月17日(日)

三永水源地の一般開放を行った。今年は暖かかったため、例年より開花が早く、ゴールデンウィーク中に満開となり、約13,000人の来場者があった。



●並滝こもれびの会“並滝寺湖畔、春の自然観察”4月19日(日)

志和町志和東の並滝寺湖畔において、自然保護協会自然観察指導員、林田和江さんの指導で、春の樹木・山野草の観察をしながら、里山の植物の特徴、生態

を学んだ。参加者28名は、長年林務関係の仕事に携わっておられた経験豊富なインストラクターの話に耳をそばだてながら、陽春の森の散策を満喫した。



●アザレアフェアリイ活動報告

イベント満載のシーズンとなり、5/3フラワーフェスティバルでは花車への搭乗、県観光連盟運営のステージにて東広島市の歌「ああ、東広島EとGo!」(JC制作)を披露し、それに関連したクイズを行い、会場のお客様に東広島をPRできた。また、福富では、5/10福富しゃくなげ祭りや5/24クロボヤ峠にてしゃくなげ写真コンテスト撮影会のモデルとして多方面で活躍中。



ただいま第7代募集中!!

●市民講座「音楽のたのしみ」 (お話と鑑賞)後編の第一回

昨年に引き続き、H21年度 西洋音楽のあゆみ(後編)…ベートーヴェンから現代までを実施の予定で、その第一回「古典派からロマン派へ」が5月23日(土)にサンスクエア コラボスクエアで実施された。受講者45人は ウィーン古典派の巨匠ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェン音楽の夫々の特色、時代背景、交響曲の楽譜の読み方、指揮者の役割、指揮棒の振り方などをCD、DVD、講師の実演などを通じて理解した。たのしく、有意義な1.5時間であった。



●2009ひがしひろしま音楽祭 開催間近 6月13日(土)、14日(日)開催

音楽祭の準備もいよいよ大詰めとなってきた。今年は初めての土日2日間開催、公園では野外ステージ・バザー、酒蔵通り周辺では音楽祭応援ステキWEEKの開催など盛り沢山。ぜひ、みなさまお越しください。

「生音(なまおと)」のすすめ。

「生ブーム」ですね。キャラメルにお茶、ビールにハムや春巻き…。このブームに乗って、「生音」に触れて頂きたくご提案致します。

「生音」の定義は、心地良く感じ、さらに録音などではない音としています。各種楽器の音はもとより、山あいでの鳥達のさえずり、風にそよぐ枝葉の戯れ、小川のせせらぎ、など。

五感で感じ取る空気や香りや振動。聴覚のみならず、感覚も全て「生音」に含まれます。

日本語はその感覚を音として感じ、表現する素晴らしい言語で、(さらさら流れの。はらはらと散る。など)古来から日本人の音に対する感覚の鋭さを感じさせられます。

音を並べて行くリズムがはじけ、音を紡いでいくと楽曲が織り上がり、言葉に抑揚をつけると歌が生まれる。これが人間の最高傑作のひとつである音楽。今日では、技術の進歩により、CDやインターネットなど様々な媒体でいつでもどこでも望むままの音楽を楽しむ事が出来ようになりました。“未来”と呼ばれた素晴らしい時代の到来です。

しかし、音楽とは「音・時間・空間」の芸術と呼ばれ、残念ながらスピーカーやヘッドホンの媒体を通してでは残念ながら「空間」を共有することができません。「空間」とは演奏者の体や楽器から発せられた音楽がその空間に響き渡り、演奏者の内面から表現があふれ出した場所です。



オペラ カルメンより

こんな素晴らしい要素はライブ(生演奏)でしか味わう事ができないのです。

これは、プロであれ、初心者や愛好家の演奏であれ変わることはありません。「生音」には音を発する人の生き方、感情、熱意やオーラが含まれているのです。こうして感動が何倍にも膨れ上がり、そして最も重要な「客席からの熱い思いや声援」により、演奏者たちは隠れ持った力を引出され發揮し、感動的な「生音」の時間と空間を創り上げて行くのです。

音楽行為としては「作曲」「演奏」「鑑賞」の三つが柱となります。まずはコンサート会場へ出掛け、「生音」を「鑑賞」し、舞台に立ってみたくなったら「演奏」し、またまた、現存する音楽で満足できなくなったら「作曲」なさってみてはいかがでしょうか?



我らの東広島市では、近年有名なアーティストによる公演を始め様々な音楽活動が盛んとなり「生音」に触れる機会が増えています。また、行政も積極的で「東広島市音楽のまちづくり構想検討委員会」を立ち上げ、音楽シーンの拡大に期待が寄せられています。そして6月には、観光協会主催の「第3回ひがしひろしま音楽祭」にあわせ、酒蔵通り周辺では「音楽祭応援ステキWEEK」と銘打ち「音楽のあふれる町」を目指し、音楽祭の1週間前から酒蔵などでコンサートを企画しています。是非、音楽で盛り上がる東広島で演奏会やライブ会場に足を運んで頂き、その空間、その時間、その音色を体感し、「生音」に触れて心を癒し育み、心豊かな生活を送ろうではありませんか。体や魂は「生音」に振るえて、喜んでくれるはずです。



オペラ オテッロより

私は演奏の一環として、東広島でオペラ公演を定例化するべく活動しています。7月12日(日)14:00から広島大学サタケメモリアルホールにて「オペラティックコンサート」の指揮を執ります。是非、演奏者達から驚くような力を引き出すべく足を運んでみて下さい。きっと新たな「生音」との出会いが待っていますよ。



■プロフィール

94年、東京音楽大学卒業後渡伊。ミラノに留学と同時にピアノの演奏活動を開始し評価を受ける。98年イタリア国立ミラノヴェルディ音楽院ピアノ伴奏学科を満点首席にて卒業。2年間の研究助手を務め帰国。01年指揮者としてデビュー。

現在は、あきクラシックコンサート実行委員会委員、もりてつや音楽教室主宰、明照寺コーラスコールトロイメン・広島オペラルネサンス合唱団指揮者、ヴィータ・ムジカーレ・東広島代表。

指揮者・ピアニスト
もりてつやさん